

児童・保護者・教職員・地域を『学び』でつなぐ

所在地：埼玉県狭山市入間川
全校児童数：476名

学校の特徴

昭和50年4月に開校。男女、学年の別なくとも仲が良く、校内外において明るく元気に挨拶をする子がとても多い。

地域の特徴

新宿まで電車で50分の駅周辺に位置し、地区内に本田技研やロッテ等の大手企業の工場がある。学校には茶室があり狭山茶畑が隣接している。西武鉄道や地元工場勤務の家庭の他、都内勤務も多い。市内では平均年齢が若い地域で、地域自治会活動が活発である。

PTA事業に『学び』の要素・目的を持たせる

教職員の協力が得られる

保護者と教職員の交流

保護者が学校を知る

PとT双方の信頼構築



防災講座、炊き出し訓練、避難所開設、夜の校舎探検市の担当課から協力を得る

学校主催できないことをPTA主催で

夜間避難所開設・炊き出し訓練

東日本大震災の際に保護者の帰宅困難者が出た教訓から、教職員が置かれる状況、学校の備蓄状況を親が知り、地元に住む保護者が主体となって市と連携を図り、災害時の子供の安全を守る。

保護者⇒アレルギー対応食の備蓄をする
児童⇒夜は怖いけど友達と一緒になら平気



ディズニーやUSJのプロダンサーによるダンスショーで子供たちに夢を！
ほぼ全児童+保護者150名

学校行事とPTA主催行事の融合

ダンスパフォーマンスショー

若い「プロ」を招くことで児童に将来の夢を描いて欲しくて実施。保護者が多数来校する学校行事と同日開催にするため、教職員と綿密な打ち合わせをした。子供たちの誘導や集合について、学校からアドバイスや協力を得た。

保護者⇒子供たちの集団行動が素晴らしい
児童⇒ダンサーになりたいと思った



性の多様性と性教育について

保護者⇒相手への思いやり、隠さない性教育の必要性
教職員⇒子供たちにもきかせたかった

保護者の人脈を積極的に活用

吉本興業タレントさんによる講座

小学校で行われている性教育の状況を学校側と情報交換しながら、LGBTについて、親へ向けた家庭教育学級を開催。単P主催だが市教委からも参加。



学校で子供たちに愛されている
ぶうくん

会員の声こそが時代に合った運営の源

【意見】幼稚園時代から仲の良いお母さん同士で同じ委員会の役員になりたいのに、子供が同じクラスになったので一緒に役員ができない。

【対応】クラスから1委員会1名選出ではなく、学年とクラスの選出枠をなくし、役員をやりたいときに友達同士で立候補ができるようにした。

本部役員立候補率
3年連続100%

【意見】校区内の一部で地域会議主催行事があるが、自分が住む地区では募集していないので、クラスの友達と子供と一緒に参加できない。

【対応】本校は、行政区分の地区が3つに分かれているため、イベント案内や参加者募集をPTAで発信。1地区のみで開催のイベントをPTA主催行事にして本校児童なら誰でも参加可能。

ドッチビー大会・綱引き大会

【意見】委員会活動に続けて欠席する人がいて、するい。私は、無理して仕事を休んで来ているのに。

【対応】共働きの世帯が多いため、それぞれの事情があるので、平日の常置委員会の活動に出られない場合は、土曜日や夜間に開催しているPTA主催イベントで受付・人員誘導・片付け等のお手伝いをすることで良しとする。悪口は厳禁！

防災訓練・天体観測人員を多数確保

【意見】学校で困っているが、PTAで実施できないか。

【対応】夜間避難所開設・炊き出し訓練の実施。運動会の会場設営・安全確保や、持ち込みでの音響サポート。市の各担当課と連携をして、学校行事の必要物資借用・運搬や講座資料の提供。卒業式のライブ配信。

親が学校を知り学校が親を知る

今後の課題

家庭数が年々減少する中で、コンパクトな運営をしつつ、より良いチームワークで、楽しみながら学べる事業を考えていく必要がある。学校を家庭教育・社会教育の拠点とするため、市の各担当課や公民館、自治会、子ども会、地元企業とのパイプ役を担えるリーダーを選任できると良い。市内ではコミュニティスクール化を推進中。